平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場会社名　株式会社Paltac　　上場取引所　東
コード番号　8283　URL　http://www.paltac.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 折目　光司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部 副本部長　(氏名) 嶋田　政治　TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日　配当支払開始予定日　平成25年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	417,395	3.8	5,479	△2.5	8,259	0.9	4,862	△4.5
25年3月期第2四半期	402,226	1.6	5,618	10.0	8,186	9.0	5,089	92.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	76.51	―
25年3月期第2四半期	91.12	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	315,396	129,314	41.0	2,034.87
25年3月期	302,851	125,756	41.5	1,978.85

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　129,314百万円　25年3月期　125,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	20.00	―	22.00	42.00
26年3月期	―	21.00			
26年3月期(予想)			―	21.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	805,000	2.4	9,200	△0.0	14,500	△2.6	8,700	3.6	136.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	63,553,485 株	25年3月期	63,553,485 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,908 株	25年3月期	3,208 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	63,549,845 株	25年3月期2Q	55,851,433 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付書類〕3ページ「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
３．補足情報 …… 8
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、政府等の経済対策及び金融政策による円安・株高を背景に、製造業を中心とした企業業績の改善から、緩やかな景気回復の傾向が見られるものの、海外景気の下振れが、国内景気を下押しする懸念などもあり、不透明な状況が続いております。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、企業間の競争は依然として激しく、消費者の節約志向が根強いなか、円安による原材料高などが不安要素となるなど厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社は、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで取り扱う中間流通業として、小売業の売場起点の発想に基づく高品質・ローコストの物流機能及び取引先の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業機能の強化を図り、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを行っております。

当事業年度は中期経営計画の初年度に当たり、販管費率８％台に向けたさらなる生産性向上と、設備投資や物流受託事業強化による機能強化、取引先との取組み強化によるインストアシェア拡大等を推進し、事業基盤の強化と着実な成長による企業価値向上に努めております。その一環として、平成25年８月に最新鋭の大型物流センター「ＲＤＣ宮城」（宮城県白石市）を開設いたしました。

これらの結果、当第２四半期累計期間の売上高は4,173億95百万円（前年同期比3.8％増）、営業利益は54億79百万円（前年同期比2.5％減）、経常利益は82億59百万円（前年同期比0.9％増）、四半期純利益は48億62百万円（前年同期比4.5％減）となりました。

当第２四半期累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

<u>卸売事業</u>

卸売事業は、取引先との取組強化によるインストアシェアが拡大したことにより、売上高は堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は4,111億98百万円（前年同期比3.7％増）、営業利益は58億25百万円（前年同期比5.1％減）となりました。

<u>物流受託事業</u>

物流受託事業は、受託先の安定した事業展開及び前事業年度から取引を開始した新規受託先の取扱高が増加したことにより、売上高は順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は61億97百万円（前年同期比6.3％増）、営業利益は７億37百万円（前年同期比14.3％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて125億44百万円増加し、3,153億96百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が116億74百万円、建物が36億９百万円増加したことや、現金及び預金が６億86百万円、商品及び製品が17億72百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて89億86百万円増加し、1,860億81百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が90億69百万円増加したことや、未払法人税等が13億91百万円、長期借入金が15億86百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて35億58百万円増加し、1,293億14百万円となりました。これは主に、利益剰余金が34億64百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より６億86百万円減少し、198億70百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は55億37百万円（前年同期比４億33百万円の減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益77億70百万円、減価償却費23億93百万円、売上債権の増加額116億74百万円、たな卸資産の減少額17億72百万円、仕入債務の増加額95億12百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は25億27百万円（前年同期比３億85百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出27億36百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は36億95百万円（前年同期比29億27百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出21億38百万円、配当金の支払額14億５百万円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年５月９日公表の予想に変更ありません。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,556	19,870
受取手形及び売掛金	136,633	148,307
商品及び製品	37,209	35,437
その他	16,998	17,395
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	211,367	220,980
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	29,529	33,139
土地	35,786	35,555
その他（純額）	13,755	13,294
有形固定資産合計	79,070	81,988
無形固定資産	770	721
投資その他の資産		
投資その他の資産	11,702	11,768
貸倒引当金	△60	△62
投資その他の資産合計	11,642	11,705
固定資産合計	91,484	94,415
資産合計	302,851	315,396
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,824	125,893
短期借入金	21,100	21,000
1年内返済予定の長期借入金	3,902	3,350
未払法人税等	4,485	3,093
賞与引当金	1,703	1,602
返品調整引当金	287	264
その他	12,716	16,355
流動負債合計	161,019	171,559
固定負債		
長期借入金	10,728	9,142
退職給付引当金	1,994	2,071
その他	3,352	3,307
固定負債合計	16,075	14,521
負債合計	177,094	186,081

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	79,548	83,012
自己株式	△3	△4
株主資本合計	123,241	126,704
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,512	2,611
繰延ヘッジ損益	2	△1
評価・換算差額等合計	2,515	2,610
純資産合計	125,756	129,314
負債純資産合計	302,851	315,396

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	402,226	417,395
売上原価	360,179	374,312
売上総利益	42,047	43,083
販売費及び一般管理費	36,428	37,604
営業利益	5,618	5,479
営業外収益		
受取配当金	107	108
仕入割引	1,912	1,944
情報提供料収入	607	625
その他	126	267
営業外収益合計	2,754	2,946
営業外費用		
支払利息	179	127
その他	6	38
営業外費用合計	186	166
経常利益	8,186	8,259
特別利益		
固定資産売却益	280	3
投資有価証券売却益	5	20
特別利益合計	285	24
特別損失		
固定資産売却損	2	20
固定資産除却損	75	4
減損損失	－	84
投資有価証券評価損	53	32
選択定年制度拡充費用	－	369
その他	13	2
特別損失合計	145	513
税引前四半期純利益	8,326	7,770
法人税、住民税及び事業税	2,737	2,947
法人税等調整額	500	△39
法人税等合計	3,237	2,907
四半期純利益	5,089	4,862

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,326	7,770
減価償却費	2,274	2,393
減損損失	－	84
貸倒引当金の増減額（△は減少）	24	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△99	△100
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△17	△23
退職給付引当金の増減額（△は減少）	125	144
受取利息及び受取配当金	△107	△108
支払利息	179	127
固定資産売却損益（△は益）	△277	16
固定資産除却損	75	4
投資有価証券評価損益（△は益）	53	32
選択定年制度拡充費用	－	369
売上債権の増減額（△は増加）	△10,425	△11,674
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,175	1,772
仕入債務の増減額（△は減少）	6,290	9,512
未収消費税等の増減額（△は増加）	－	343
未払消費税等の増減額（△は減少）	△1,066	381
その他	△318	△1,172
小計	6,212	9,877
利息及び配当金の受取額	107	108
利息の支払額	△169	△119
法人税等の支払額	△179	△4,329
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,970	5,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,214	△2,736
有形固定資産の売却による収入	1,574	276
無形固定資産の取得による支出	△279	△57
投資有価証券の取得による支出	△79	△78
投資有価証券の売却による収入	62	21
敷金及び保証金の回収による収入	78	21
その他	△55	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,913	△2,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△3,694	△100
長期借入金の返済による支出	△1,762	△2,138
リース債務の返済による支出	△51	△51
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,115	△1,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,623	△3,695
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,565	△686
現金及び現金同等物の期首残高	21,452	20,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,886	19,870

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

３．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

（販売実績）

①当第２四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	商品分類別の名称	当第２四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日） 金額（百万円）	前年同四半期比（%）
卸売事業	化粧品	103,438	105.3
	日用品	176,651	104.6
	医薬品	66,859	100.1
	健康・衛生関連品	63,613	103.1
	その他	635	86.9
	卸売事業売上高　計	411,198	103.7
物流受託事業	物流受託事業売上高	6,197	106.3
合計		417,395	103.8

（注）上記の金額には、消費税等を含めておりません。

②当第２四半期累計期間における卸売事業の販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第２四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日） 金額（百万円）	前年同四半期比（%）
Drug	ドラッグストア	246,190	102.9
HC	ホームセンター	47,210	101.4
CVS	コンビニエンスストア	31,024	103.6
SM、SSM	スーパーマーケット、スーパースーパーマーケット	29,470	102.6
GMS	ゼネラルマーチャンダイジングストア	27,059	100.2
DS、SU.C	ディスカウントストア、スーパーセンター	17,658	128.8
その他	輸出、その他	12,585	113.5
卸売事業売上高　計		411,198	103.7

（注）上記の金額には、消費税等を含めておりません。